

大門・丸之内

20年先を見据えて



未来のまちづくり

エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」では、官民の関係者が地区の将来像である「津市大門・丸之内地区 未来ビジョン」を共有し、その実現に向け取り組んでいます。そこで、これまでの取り組みや令和6年度の事業を紹介します。

問い合わせ 都市政策課 ☎229-3183 📠229-3336



未来ビジョンとは？

エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」が令和5年3月に策定した「津市大門・丸之内地区 未来ビジョン」には、将来像実現のための5つの目標が定められています。

特に重点的に取り組むべき施策を「リーディングプロジェクト」として位置付け、優先的に実施しています。



未来ビジョンについて



目標

1

人が集い、交流、活動できるまち

リーディングプロジェクト

- お城公園、お城前公園、観音公園、津市まん中広場などの活用

目標

2

楽しく歩いて回遊できるまち

リーディングプロジェクト

- 立町・大門大通り、国道23号の活用
- 新たな移動手段の導入

目標

3

エリア価値の高いまち

リーディングプロジェクト

- 空き地・空き家・空き店舗の活用

目標

4

魅力情報が発信されるまち

リーディングプロジェクト

- 地域が一体となった情報発信

目標

5

持続可能なまち

リーディングプロジェクト

- 清潔な空間づくり、安全・安心なまちづくり

エリアプラットフォームとは？

エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」は、地区の関係者がまちづくりを進めるために設立した官民連携の組織です。

「大門・丸之内 未来のまちづくり」では、さまざまな社会実験や地域が一体となった情報発信など、新たなまちづくりに取り組んでいます。

エリアプラットフォーム公式 SNS



LINE



Instagram

